



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

# 広島陵北ロータリークラブ

## - The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

みんなで作ろう ローター

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

2013-2014 R.I.会長メッセージ

第1120回例会 2014年6月4日 No.1089号

### 会長時間



#### 会長 森川 和彦

6月に入りました。今日は雨模様で、うとおしくはありますが、梅雨らしい天候かと思えます。田植えの時期ですので、雨もしっかりと降っていただかなければなりません。さて、6月は、ロータリー親睦活動月間です。要覧では、レクリエーションや職業で同じ関心を持つロータリアン同士の国際的な親睦と親善の重要性を認識し、親睦活動への参加を促し、親睦活動プログラムへの理解を促すための月間であると説明されています。ロータリー親睦活動というので、活動を意味するのかと思いましたが、活動をする団体を指して使われることもあるようで、率直に言ってよくわかりません。団体自体は、世界で64あるそうで、そのうち唯一日本発信のものが囲碁だそうです。これらの説明の仕方からして、ロータリー親睦活動とは、乱暴な言い方をすれば、一緒に遊んで友情を育もうということのようです。会長時間でも何度かお話させていただきましたが、ロータリーの親睦とは、単に一緒にお酒を飲んだりして友情を深めるということだけでなく、奉仕活動を実践するための前提であり手段です。ロータリーが親睦に始まるのは当然としても、親睦に終わってはならないのですとは、今年度、幹事さんといつも議論になったところです。当然、私としては、親睦活動月間も、ロータリーの親睦としての意義から定められたものであろう、親睦活動月間が年度の終わりに定められていることにも意義があるはずだ、それはきっと年度の終わりに親睦をもう一度見つめ直し、来たるべき新年度の活動に備えるためのものである、などとイメージをもって親睦活動月間を調べてみたのですが、どうもこの月間については、それほど深い意味があるわけでもなさそうで、単に趣味を同じくする者が集まって親睦を深めようというくらいの趣旨のようです。私としては疑問が消えませんが、お手元のガバナー月信に、大之木パストガバナーが、「ややもすれば教条的になりがちな理詰めのロータリーの桎梏を離れ、偶には肩の力を抜いたロータリーの楽しみに浸るのも一興です。」と書かれているのを拝見しては仕方がありません。今月に関しては、素直に親睦を楽しみたいと思います。ということになれば、我がクラブにもいくつか同好会がありますので、是非、積極的に参加していただき親睦を深めていただきたいと思います。また、肩の力を抜いたロータリーの楽しみに浸ろうとお墨付きをいただきましたので、最終夜間例会は、みんなで作るような企画を親睦家族委員会にお願いいたしました。どうぞお楽しみに。

#### 今回の例会(6月11日)

退任挨拶

森川 和彦 会長 古谷 幸一 副会長

#### 次回の例会(6月18日)

退任挨拶

幹事・理事・役員

#### 出席報告 (吉田例会運営委員)

6月4日(水)出席者

会員総数	55名
出席会員	46名
欠席会員	9名
ご来賓	0名
ご来客	6名
ゲスト	1名

#### 来客者紹介

(太田原親睦家族委員)

6月4日(水)出席者

広島RC	1名
広島南RC	3名
広島中央RC	1名
広島西南RC	1名

#### 幹事報告(鈴木幹事)

##### ■例会変更

- ・広島中央RC「休会」6月23日(月)
- ・広島廿日市RC「最終夜間例会」  
【とき】6月20日(金)18:30～【※6/23(月)の変更】  
【ところ】多津満
- ・広島東南RC「最終例会・会員懇親会」  
【とき】6月30日(月)18:30～【※同日変更】  
【ところ】ANAクラウンプラザホテル広島
- ・広島中央RC「最終夜間例会」  
【とき】6月30日(月)18:00～【※同日変更】  
【ところ】半べえ
- ・広島廿日市RC「休会」6月30日(月)

##### ■BOX配布物

- ・ロータリーの友 6月号
- ・ガバナー月信 6月号

【例会】毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】森川 和彦

【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】鈴木 大次郎

【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/

【FAX】082-221-4870

## 会 員 卓 話

### 久保井 邦宏 会員

このたび大旗、石田 両会員のご推薦をいただき2月に入会させていただきました久保井邦宏です。入会したばかりの若輩ものですが、本日は宜しくお願いいたします。

入会させていただき3ヶ月半になりますが最初の行事である『新会員歓迎夜間例会』を欠席という事で、皆様方に私の自己紹介がまだ出来ていません。また学校の講義日と重なり、4月まではホーム例会への出席が半分しか達成出来ず、大変申し訳なく思っております。5月からは今のところ100%出席で頑張っており、6月末の最終夜間例会にて皆様方と会話出来る事を楽しみに待ち望んでいます。



今日の卓話ですが、まず自己紹介をさせていただきたいと思います。

- 生年月日 昭和34年2月5日生まれ(55歳)  
出身地 広島県豊田郡大崎上島町  
最終学歴 九州共立大学工学部建築学科 卒業  
卒業後 広島と福岡の設計事務所にお世話になり、平成元年に事務所を設立しました。おかげさまで今年の5月2日で何とか25周年を迎える事が出来ました。  
家族構成 妻、子供3人、孫2人。長男、長女、次男、3人とも妻が上手く育ててくれました。  
趣味 音楽と旅行です。音楽は中学3年から高校3年までアコースティックギターを弾きながら、よく歌を唄っていました。今現在、歌は事務所のスタッフとカラオケで盛り上がりますが、ギターは飾って“見て楽しむ”方になっています。旅行は古い町並みや温泉などを妻と楽しんでいます。

次にこれまでの私と建築の関わりについてお話したいと思います。

なぜ建築設計の仕事をしよと思ったのか。

父と母は大崎上島にて製麺業を営んでおりました。父はとても器用で日曜大工が趣味でした。その影響なのかどうかはわかりませんが、小さい頃から絵を描いたり工作したりする事が好きだった私は、よく父の日曜大工の手伝いをしていました。たまたま中学校の時に家の増改築をした時、大工の弟子がケガをしていて手伝いをした事が建築設計に進む一番のきっかけになったと思います。

大学は北九州の学校に進み、昭和56年に卒業して広島の設計事務所に入社しました。その当時を振り返りますと構造計算に新耐震基準が導入され、コンピューターでなければ計算できず、意匠設計と構造設計が分離された時代でもありました。当時は今みたいにパソコンがある訳ではなく大型コンピューターを使い作業を行っていました。普及したのがワープロやファックスで、かなりの高額商品だったと記憶しています。

その後、大学の恩師である福岡の設計事務所に移り約4年間勉強させてもらい、父との約束もあり広島に戻りました。そして平成元年5月2日に事務所を設立しました。広島を離れ福岡の事務所に4年ぐらい居た事もあり、なかなか仕事には巡り会えず大変でした。設立時はバブル経済の中にありましたが、後期だったこともありバブルの恩恵を受ける事もなくバブルは弾けてしまいました。

設立から10年間ぐらいは仲間らしい仲間もなく一人で細々と仕事をこなす日々でしたが、現在までに5つの大きな出来事がありました。

## 会 員 卓 話

□独立して最初の大きな出来事(平成10年)

先輩の紹介で建築士の資格学校の非常勤講師をすることとなったことです。市内の若手設計仲間との出会いや受講生との出会いがあり建築業界の交流を広げるきっかけとなりました。このことは後に専門学校の非常勤講師を依頼されるきっかけともなりました。

□2つ目の大きな出来事(平成16年)

大旗連合建築設計の大旗社長(現会長)との出会いです。建築士事務所協会に平成6年頃より入会しておりましたが、声をかけていただき住宅委員会に入ることになりました。これを機に市内の大手事務所の先生方にも顔を覚えていただき、お話もしていただけるようになりました。この様なことが無ければ話かけることすらなかった方々と出会いのチャンスを得たこと感謝するばかりです。

□3つ目の大きな出来事(平成17年)

JIA(日本建築家協会)に入会したことです。中国支部に所属し中国地方の様々な建築家と出会い、知り合うことができました。また平成20年から中国支部の常任幹事を務めさせていただくこととなり、全国規模で多くの建築家と知り合うことができました。建築に対する視野を広げることになったことは間違いありません。

□4つ目の大きな出来事(平成19年)

自宅兼事務所を建てることを決めた事です。平成20年4月に完成し、スタッフも増え手狭になった旧事務所を離れ念願だった地下にアトリエを持つ新事務所に移転しました。ただこの年はリーマンショックがあり、非常に厳しい年であったことも記憶に新しいことです。

先程も申しましたが、平成元年に事務所を立ち上げ今年でまる25周年を迎えることができました。今日まで、山はなかったので『丘あり、谷あり』やってまいりましたが、その間多くの建築家の方と出会い刺激を受け、仲間の建築家に相談したり相談されたりしながら、また良いスタッフにも恵まれて、最近、益々建築設計が楽しくなってきました。

そんな私の最近の仕事は、鉄筋コンクリート造では専用住宅付テナントビル、先程述べました自宅兼事務所でもいずれもコンクリート打放しの建物。鉄骨造の店舗併用住宅、木造2階建ての飲食店舗、専用住宅においては木造2階建てから、一部を鉄筋コンクリート造とした混構造の住宅などがあります。他では無いタイプで、東広島が多世代型の一般賃貸住宅があります。2～5階は多世帯向きの賃貸住戸で、一部に車椅子対応住戸を確保しています。特徴的なのは1階部分で、高齢者、障がい者、福祉サービスの事業所が入居しており、建物全体でコミュニティーを図るだけでなく、地域住民を巻き込んで広いコミュニティー環境を形成して活気あふれる空間になっています。TVや新聞にも多々取り上げられ、県内問わず県外からや、厚労省など国の方も見学に来ています。このシステムを用いるプロジェクトの第2弾も推進中です。というように色々な設計をしています。何かありましたら相談にのりますので、声を掛けていただければ幸いです。

□5つ目の大きな出来事(今年＝平成26年)

私の様な者がこの広島陵北ロータリークラブに入会させていただいたことです。

これからは先輩方と終身長いお付き合いをさせていただきたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻、特にご指導の方賜ります様よろしく願いいたします。

つたない卓話であったと思いますがご清聴ありがとうございました。

## 会 員 卓 話

### パートナーを褒めましょう

吉田 壽美枝 会員

さて、この場を見渡しますと半分ぐらいの方が結婚されて40年ぐらいになられる様に思います。仕事でのお付き合いで夕食をお家でする機会が少ないのではないのでしょうか。そうなりますと、パートナーとゆっくり向き合う時間が作れないと思います。新しいお洋服を着ていても分からない。美容院から帰ってきて髪の毛の型が少し変わっても気が付かない。それは普段から会話が少ないからだと思います。そこでご夫婦の中が円満になる様におまじないとして、パートナーを褒めましょう。学校や企業でも褒めて伸ばすと言う事が取り入れられています。家族でも取り入れてみてはいかがでしょうか。



40年近くなりますと言葉にしなくても分かるだろうと、思っていないですか。それはほとんどない事です。言葉にしないと気持ちは通じませんよ。どんなささいな事でもよいのです。褒めて下さい。褒められる事によって変わると思います。たとえば、朝食時の支度の時に素颜だったのが口紅をつけ髪もきれいにして、おしゃれなエプロンをつけるとキッチンがパーと花が咲いた様に明るくなり、さあ今日も仕事を頑張ろうと言う気になりますでしょう。でも今更、褒めるなんてと言う方には感謝の言葉から初めてはいかがでしょうか。パートナーのストレスも少なくなる様に思います。

男性によって個人差はあると思いますが、谷間が見えるぐらいのブラウスにスリットの深いスカート、この様なお洋服を着ていたらまず注意するでしょう。品のない着方はいけません。魅力的な装いでも他人に見られるのが嫌だからでしょうか。ヨーロッパの男性、特にイタリアの男性はしっかり褒めて、なお他人に自慢するのです。この違いは何でしょうか。日本の男性は照れ屋さんだからですかね。少し疑問にも思います。女性の40代、50代が一番輝ける年齢なのです。それ以上の年齢になりますと更年期を向かえフェイスラインやボディーラインが少しずつ崩れてきます。もう年だからと諦める人と元通りにしようとエステやジムに通い自分磨きを意識する前向きな気持ちこそ、輝く女性になる為に必要な事だと思います。

ほんの少しの褒め言葉によって日々気持ちよく過ごせる為にどうぞパートナーを褒めるという事を是非実行してみてくださいませ。この話が皆様の為になればよいと思います。

## SMILE BOX

.....SMILE BOX

### 堀江正憲 会員

広島も梅雨に入りそうです。本日、ホームテレビの夕方のJステーションで梅雨時のカビ対策で少しお話をします。カビに弱い方はニュースをお聞き下さい。

### 川中敬三 会員

5月31日土曜日晴天の素晴らしい日に、佐藤会員の広島紅葉ccで楽打会が開催されました。20名ばかりの出席者の中、くしくも私が優勝させて頂き同じ組で廻った沖田会員と道垣内(安佐RC)会員には大変お世話になりました。尚2位が大田原会員、3位が木村会員でした。それぞれ佐藤会員より素晴らしいゴルフバッグを頂き感謝申し上げます。

### 佐藤智之 会員

先日は楽打会のコンペを開催して頂きまして誠にありがとうございました。これからも気兼ねなく遊びにいらして下さい。

### 船場誠吾 会員

この度はブラジルワールドカップ 日本対コートジボワール戦の観戦ツアーに陵北ロータリークラブよりたくさんの皆様にご参加頂き誠にありがとうございます。全社では3000名を超える参加を頂く事となりました。本当に残念ですが、私は6/14(土)の朝10時よりテレビの前で応援させて頂きます。皆様の快適な旅と日本の勝利を期しながら。

当日計	24,000円	累計	971,000円
-----	---------	----	----------